

# I 人口・世帯数の概要

# 1 概要

令和2年10月1日現在の住民基本台帳に基づく浜松市の総人口は800,760人で、前年に比べ2,096人(0.26%)減少している。世帯数は344,732世帯で、前年に比べ3,836世帯(1.13%)増加している。

性別で見ると、男性が399,008人(構成比49.8%)で、前年に比べ963人(0.24%)減少している。女性は401,752人(同50.2%)で、前年に比べ1,133人(0.28%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.3で、前年と同様であった。

1世帯当たりの平均人員は2.32人で、前年と比べ0.04人減少している。

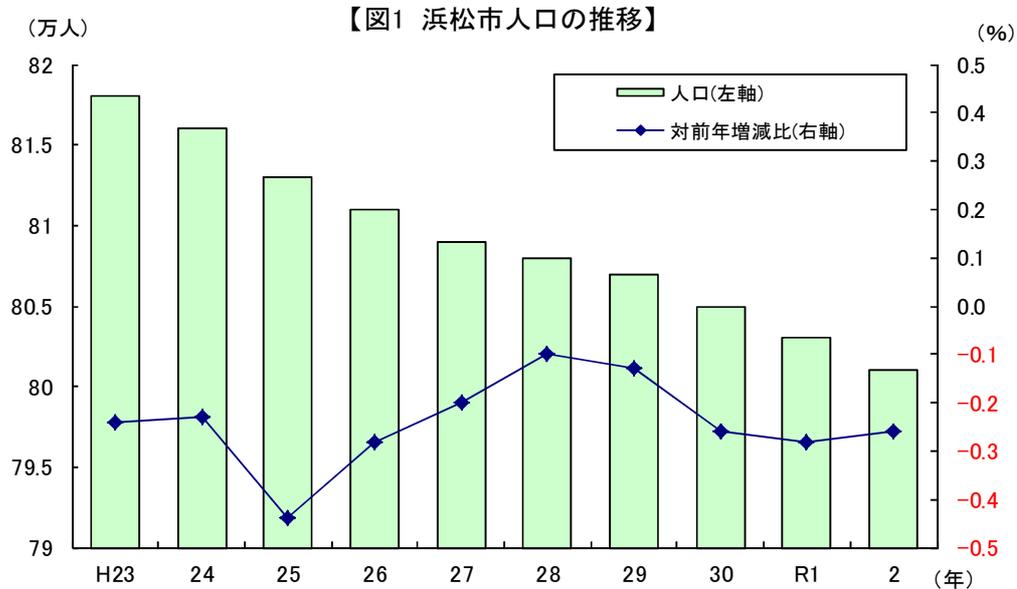


表1 浜松市人口・世帯数の推移

年	総		人			口		日 本	
	総 数	前年比%	男	女	世帯数	総 数	前年比%		
平成 23年	818,375	△ 0.24	407,360	411,015	318,213	792,691	△ 0.01		
24	816,490	△ 0.23	406,168	410,322	320,171	792,334	△ 0.05		
25	812,888	△ 0.44	404,343	408,545	321,882	791,400	△ 0.12		
26	810,642	△ 0.28	403,298	407,344	324,478	789,670	△ 0.22		
27	809,065	△ 0.19	402,309	406,756	327,467	788,190	△ 0.19		
28	808,249	△ 0.10	402,184	406,065	330,765	786,831	△ 0.17		
29	807,199	△ 0.13	401,711	405,488	333,930	784,658	△ 0.28		
30	805,110	△ 0.26	400,835	404,275	337,238	781,147	△ 0.45		
令和 元年	802,856	△ 0.28	399,971	402,885	340,896	777,581	△ 0.46		
<b>2</b>	<b>800,760</b>	<b>△ 0.26</b>	<b>399,008</b>	<b>401,752</b>	<b>344,732</b>	<b>775,373</b>	<b>△ 0.28</b>		

注)平成23年以前は、日本人住民は住民登録数、外国人住民は外国人登録数を集計。

表2 浜松市人口・世帯数等

区 分	令 和 元 年 10 月 1 日						総 数	前年比%
	総 数	男	女	性比	世帯数	1世帯当たり平均人員		
<b>総 人 口</b>	<b>802,856</b>	<b>399,971</b>	<b>402,885</b>	<b>99.3</b>	<b>340,896</b>	<b>2.36</b>	<b>800,760</b>	<b>△ 0.26</b>
日本人住民	777,581	387,419	390,162	99.3	328,710	2.37	775,373	△ 0.28
外国人住民	25,275	12,552	12,723	98.7	12,186	2.07	25,387	0.44

## 2 日本人住民数と外国人住民数

令和2年10月1日現在の日本人住民数は775,373人で、前年に比べ2,208人(0.28%)減少している。世帯数は332,478世帯で、3,768世帯(1.15%)増加している。

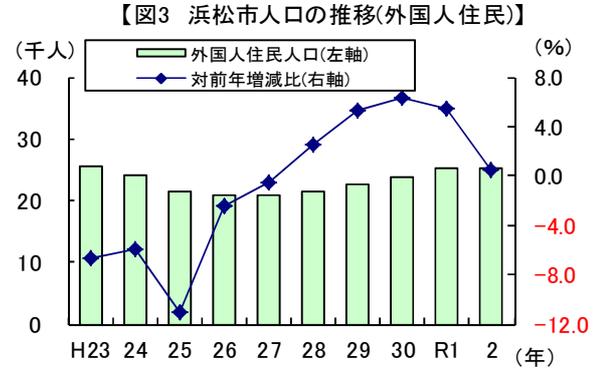
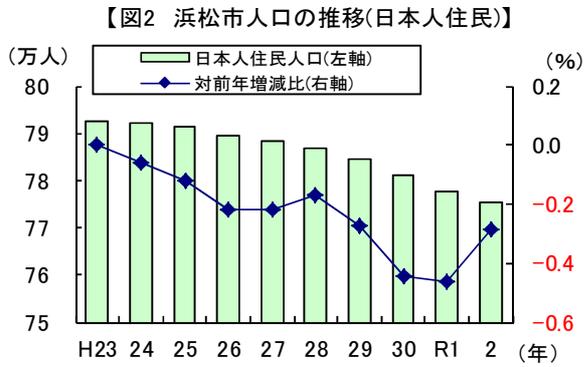
性別でみると、男性が386,464人(構成比49.8%)で、前年に比べ955人(0.25%)減少している。女性は388,909人(同50.2%)で、前年に比べ1,253人(0.32%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.4で、前年に比べ0.1ポイント増加している。

1世帯当たりの平均人員は2.33人で、前年に比べ0.04人減少している。

令和2年10月1日現在の外国人住民数は25,387人で、前年に比べ112人(0.44%)増加している。世帯数も12,254世帯で、前年に比べ68世帯(0.56%)増加している。

性別でみると、男性が12,544人(構成比49.4%)で、前年に比べ8人(0.06%)減少、女性は12,843人(同50.6%)で、前年に比べ120人(0.94%)増加している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は97.7で、前年に比べ1.0ポイント減少している。

1世帯当たりの平均人員は2.07人で、前年と同様であった。



人 住 民			外 国		人 住 民		
男	女	世帯数	総 数	前年比%	男	女	世帯数
394,635	398,056	305,874	25,684	△ 6.70	12,725	12,959	12,339
394,282	398,052	309,078	24,156	△ 5.95	11,886	12,270	11,093
393,864	397,536	312,365	21,488	△ 11.04	10,479	11,009	9,517
393,052	396,618	315,192	20,972	△ 2.40	10,246	10,726	9,286
392,182	396,008	318,343	20,875	△ 0.46	10,127	10,748	9,124
391,796	395,035	321,240	21,418	2.60	10,388	11,030	9,525
390,767	393,891	323,664	22,541	5.24	10,944	11,597	10,266
389,077	392,070	326,104	23,963	6.31	11,758	12,205	11,134
387,419	390,162	328,710	25,275	5.48	12,552	12,723	12,186
<b>386,464</b>	<b>388,909</b>	<b>332,478</b>	<b>25,387</b>	<b>0.44</b>	<b>12,544</b>	<b>12,843</b>	<b>12,254</b>

令 和 2 年 10 月 1 日									
男	女		性比	世帯数	1世帯当たり 平均人員	面積km <sup>2</sup>	人口密度		
	前年比%	前年比%							
<b>399,008</b>	<b>△ 0.24</b>	<b>401,752</b>	<b>△ 0.28</b>	<b>99.3</b>	<b>344,732</b>	<b>1.13</b>	<b>2.32</b>	<b>1,558.06</b>	<b>514</b>
386,464	△ 0.25	388,909	△ 0.32	99.4	332,478	1.15	2.33	-	-
12,544	△ 0.06	12,843	0.94	97.7	12,254	0.56	2.07	-	-

### 3 行政区別人口

行政区別に人口・世帯数をみると、人口・世帯数ともに最も多いのは中区で、237,213人(構成比29.6%)、112,524世帯(同32.6%)である。また、人口・世帯数ともに最も少ないのは天竜区で、27,585人(同3.4%)、12,254世帯(同3.6%)である。

人口密度も同様に、最も高いのは中区の5,350人/km<sup>2</sup>、最も低いのは天竜区の29人/km<sup>2</sup>である。

性比(女性を100とした場合の男性の割合)は、南区が101.8で最も高く、続く東区も100.4で、男性の割合が高い。性比が最も低いのは、天竜区の93.8である。

【図4 行政区別人口・世帯数(構成比)】

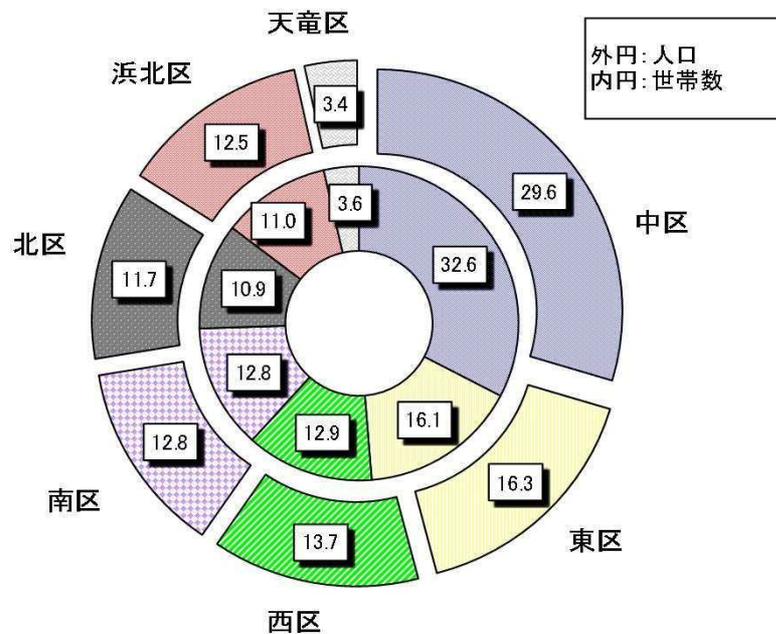


表3 区別の人口・世帯数等

区別	令和元年10月1日		令和2年10月1日										
	総数	世帯数	総数	前年比%	男	女	性比	世帯数	前年比%	1世帯当たり平均人員	人口構成比	面積km <sup>2</sup>	人口密度
中区	237,444	111,372	237,213	△ 0.10	117,727	119,486	98.5	112,524	1.03	2.11	29.6	44.34	5,350
東区	130,446	54,667	130,497	0.04	65,377	65,120	100.4	55,460	1.45	2.35	16.3	46.29	2,819
西区	110,564	44,308	109,612	△ 0.86	54,612	55,000	99.3	44,631	0.73	2.46	13.7	114.71	956
南区	102,763	43,630	102,492	△ 0.26	51,698	50,794	101.8	44,122	1.13	2.32	12.8	46.84	2,188
北区	93,616	37,141	93,339	△ 0.30	46,275	47,064	98.3	37,665	1.41	2.48	11.7	295.54	316
浜北区	99,700	37,402	100,022	0.32	49,969	50,053	99.8	38,076	1.80	2.63	12.5	66.50	1,504
天竜区	28,323	12,376	27,585	△ 2.61	13,350	14,235	93.8	12,254	△ 0.99	2.25	3.4	943.84	29

## 4 年齢別人口

年齢別に人口をみると、前年に比べ、年少人口（15歳未満）は103,498人（同12.9%）で1,400人、生産年齢人口（15歳～64歳）は474,924人（同59.3%）で3,221人それぞれ減少しているのに対し、老年人口（65歳以上）は222,338人（構成比27.8%）で2,525人増加している。

行政区別に構成比をみると、年少人口が最も高いのは浜北区（15.2%）で、最も低いのは天竜区（7.5%）である。生産年齢人口が最も高いのは中区（61.1%）で、最も低いのは天竜区（47.2%）である。老年人口が最も高いのは天竜区（45.4%）で、最も低いのは東区（25.8%）である。

表4 年齢3区分別人口

区 分	令和元年	令和2年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口 (15歳未満)	104,898	103,498	29,352	17,876	14,191	12,901	11,960	15,153	2,065
構成比 (%)	13.1	12.9	12.4	13.7	12.9	12.6	12.8	15.2	7.5
生産年齢人口 (15歳～64歳)	478,145	474,924	144,895	79,013	64,555	61,596	53,425	58,432	13,008
構成比 (%)	59.6	59.3	61.1	60.6	58.9	60.1	57.2	58.4	47.2
老年人口 (65歳以上)	219,813	222,338	62,966	33,608	30,866	27,995	27,954	26,437	12,512
構成比 (%)	27.4	27.8	26.5	25.8	28.2	27.3	30.0	26.4	45.4

年齢構成指数をみると、年少人口指数は21.8（前年21.9）で前年に比べ減少している。老年人口指数は46.8（同46.0）、従属人口指数は68.6（同67.9）、老年化指数は214.8（同209.5）で、前年に比べ上昇している。老年化指数の上昇が著しく、高齢化が進んでいることが分かる。

行政区別にみると、老年人口指数・従属人口指数において天竜区が突出して高く、生産年齢人口が少ないことを示している。老年化指数は全ての区で150を超えており、老年人口が年少人口を上回っていることが分かる。

### 【人口の年齢構成の特徴を表す指数】

- 年少人口指数（生産年齢人口に占める年少人口の割合）

$$\frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

- 老年人口指数（生産年齢人口に占める老年人口の割合）

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

- 従属人口指数（生産年齢人口に占める年少人口と老年人口の和）

$$\frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

- 老年化指数（年少人口に占める老年人口の割合）

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

【図5 年齢3区分別人口(構成比)】

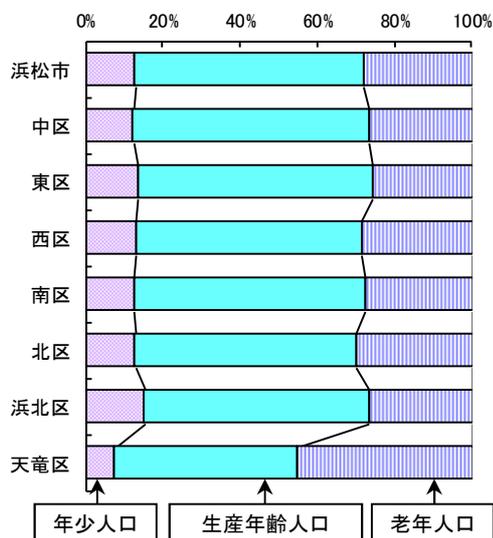


表5 年齢構成指数

区 分	令和元年	令和2年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口指数	21.9	21.8	20.3	22.6	22.0	20.9	22.4	25.9	15.9
老年人口指数	46.0	46.8	43.5	42.5	47.8	45.4	52.3	45.2	96.2
従属人口指数	67.9	68.6	63.7	65.2	69.8	66.4	74.7	71.2	112.1
老年化指数	209.5	214.8	214.5	188.0	217.5	217.0	233.7	174.5	605.9

日本人住民の平均年齢は46.86歳で、前年の46.56歳より0.30歳上昇している。男女別にみると、男性は45.34歳(前年45.05歳)、女性は48.36歳(同48.05歳)で、ともに前年に比べ上昇している。外国人住民の平均年齢は34.29歳で、前年の33.94歳より0.35歳上昇している。

男女別にみると、男性は33.07歳(前年32.74歳)、女性は35.48歳(同35.13歳)で、ともに前年に比べ上昇している。

行政区別にみると、日本人住民の平均年齢は、前年と同様すべての区において上昇しており、最も上昇幅が大きかったのは西区の0.46歳で、最も上昇幅が小さかったのは中区と浜北区の0.24歳であった。外国人住民の平均年齢は、前年に比べ、天竜区以外のすべての区において上昇している。

表6 平均年齢

【日本人住民】

区 別	令 和 元 年			令 和 2 年		
	男	女	合計	男	女	合計
<b>浜 松 市</b>	<b>45.05</b>	<b>48.05</b>	<b>46.56</b>	<b>45.34</b>	<b>48.36</b>	<b>46.86</b>
中 区	44.98	48.13	46.57	45.21	48.38	46.81
東 区	43.95	46.61	45.28	44.24	46.88	45.56
西 区	45.15	48.09	46.63	45.58	48.58	47.09
南 区	45.05	48.06	46.54	45.34	48.40	46.86
北 区	45.92	49.06	47.50	46.31	49.44	47.89
浜 北 区	43.91	46.36	45.14	44.14	46.61	45.38
天 竜 区	54.43	58.51	56.53	54.80	58.98	56.96

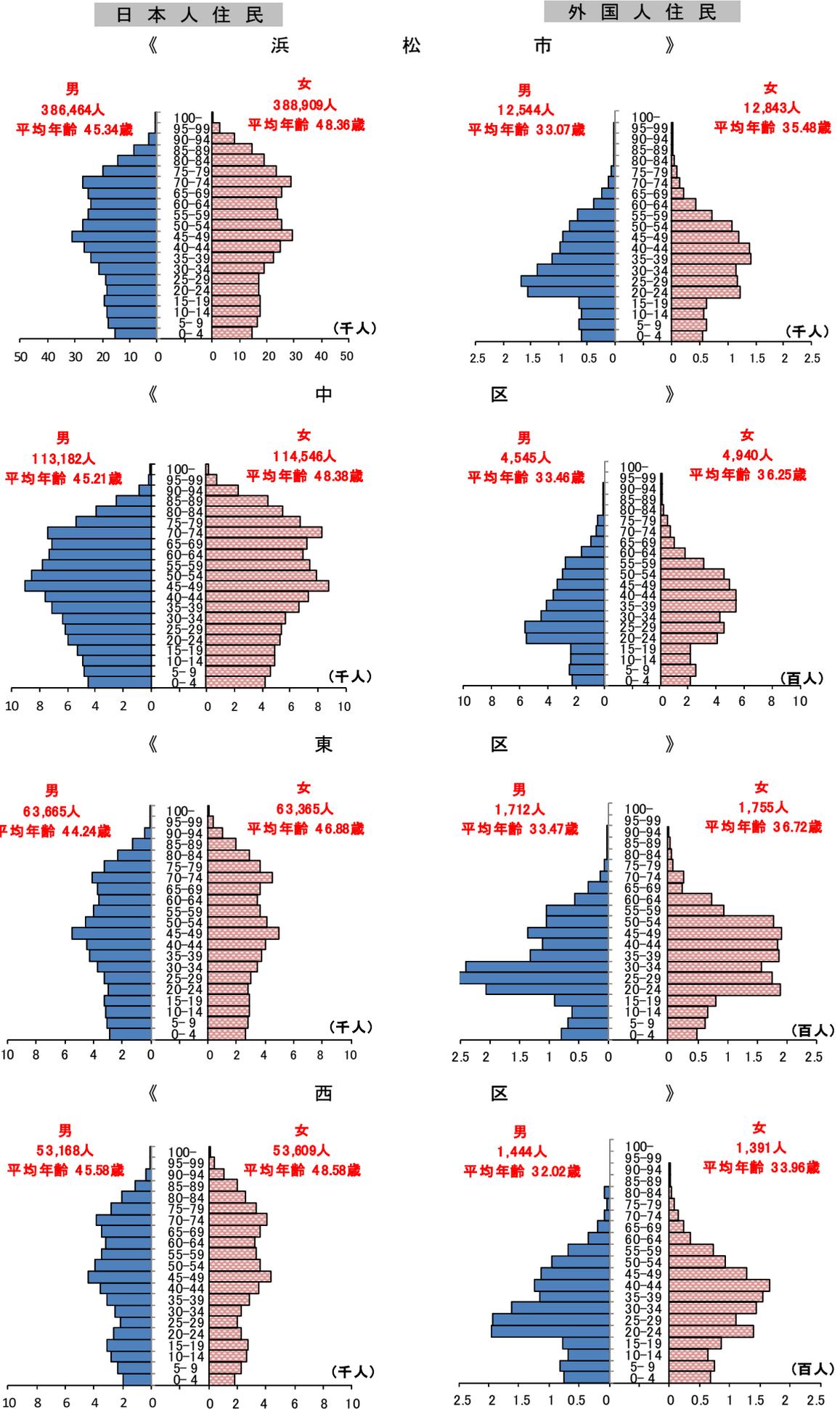
【外国人住民】

区 別	令 和 元 年			令 和 2 年		
	男	女	合計	男	女	合計
<b>浜 松 市</b>	<b>32.74</b>	<b>35.13</b>	<b>33.94</b>	<b>33.07</b>	<b>35.48</b>	<b>34.29</b>
中 区	33.35	36.06	34.75	33.46	36.25	34.91
東 区	33.15	36.66	34.91	33.47	36.72	35.11
西 区	30.91	32.96	31.90	32.02	33.96	32.97
南 区	32.58	34.56	33.54	32.72	34.96	33.82
北 区	31.62	33.54	32.59	32.11	34.15	33.11
浜 北 区	32.47	33.39	32.92	33.06	33.85	33.46
天 竜 区	37.95	38.65	38.31	38.00	38.51	38.27

人口ピラミッド(5歳階級)は、日本人住民において、40歳代後半(昭和46～50年生)と、70歳代前半(昭和21～25年生)の人口が多いことを表している。外国人住民は、20歳代後半の人口が最も多い。

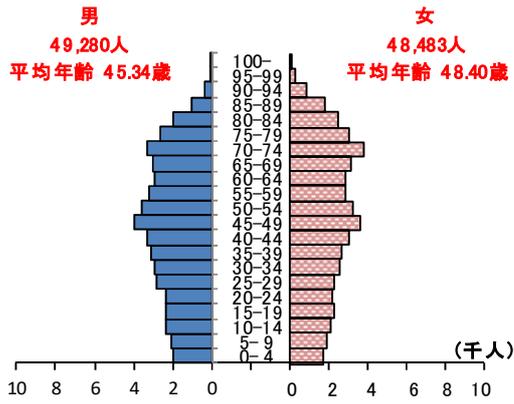
行政区別にみても概ねその傾向があるが、特徴的な区もある。南区と北区の日本人住民人口は、他区に比べ年齢階級による凹凸が少ない。天竜区の日本人住民においては、第二次ベビーブーム世代の凸が見られない。

【図6 人口ピラミッド(5歳階級)】



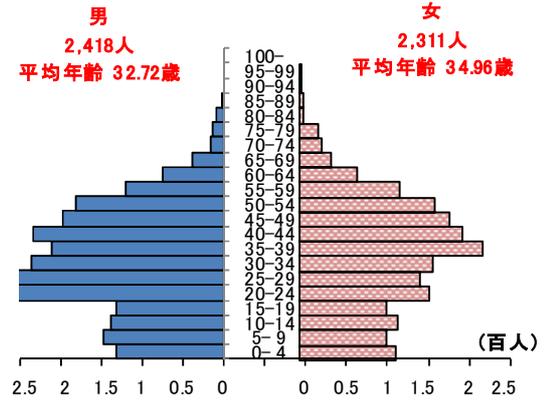
日本人住民

《 南 区 》

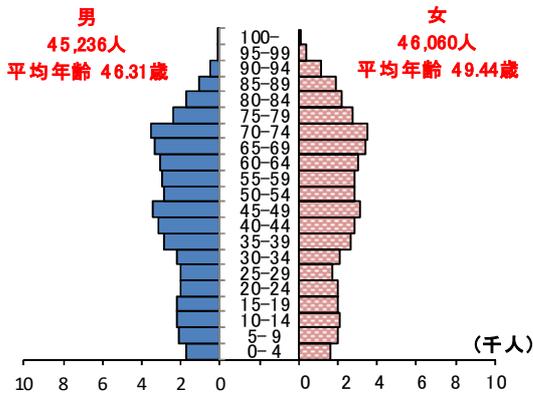


外国人住民

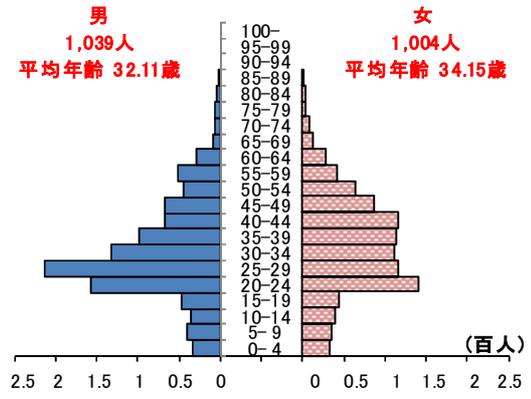
《 南 区 》



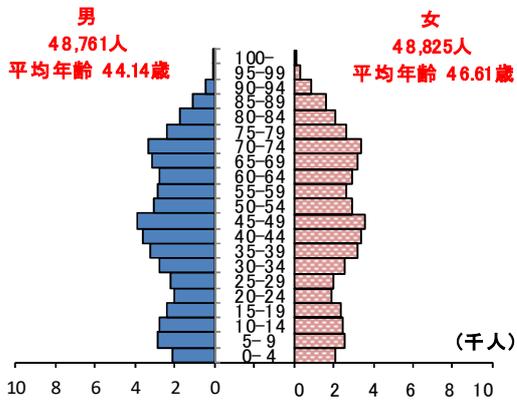
《 北 区 》



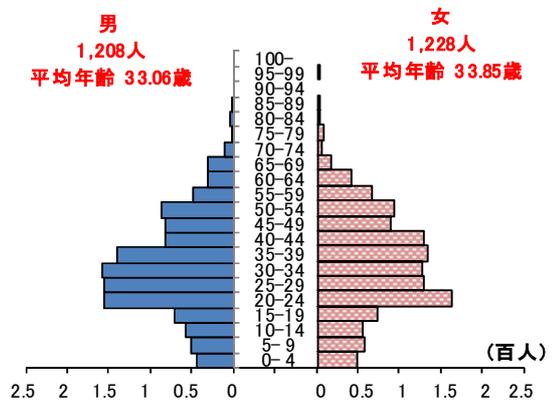
《 北 区 》



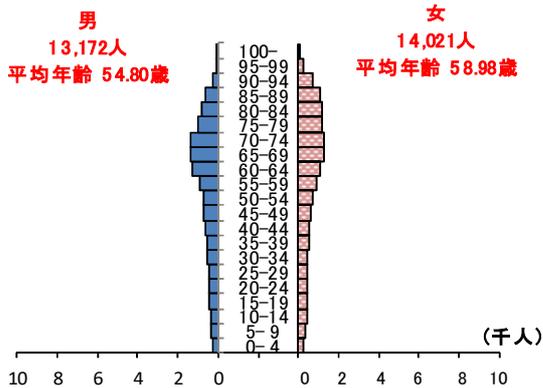
《 浜 北 区 》



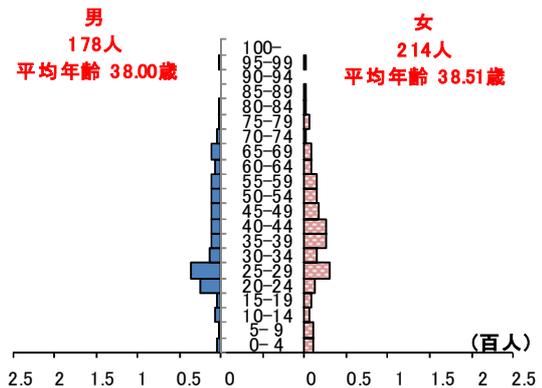
《 浜 北 区 》



《 天 竜 区 》



《 天 竜 区 》



## 5 人口動態(令和2年1月～令和2年12月)

### (1) 自然動態

令和2年1月から令和2年12月までの自然動態をみると、出生数は5,628人、出生率(人口1,000人当たりの出生数)は7.03‰(パーミル)である。これに対し、死亡数は8,518人、死亡率(人口1,000人当りの死亡数)は10.64‰で、両者の差である自然増減数は2,890人減、自然増減率(人口1,000人当たりの自然増減数)は3.61‰減である。

前年と比較すると、出生数は163人減少し、死亡数は71人増加している。自然増減数は234人減で、12年連続の減少である。

行政区別にみると、出生数は中区、東区、浜北区の順に多く、死亡数は中区、東区、北区の順に多い。自然増減数は東区、浜北区の順に多く、中区と北区では大きく減少している。

出生率が最も高いのは東区、最も低いのは天竜区である。死亡率が最も高いのは天竜区、最も低いのは浜北区であり、自然増減率が最も高いのは東区、最も低いのは天竜区である。

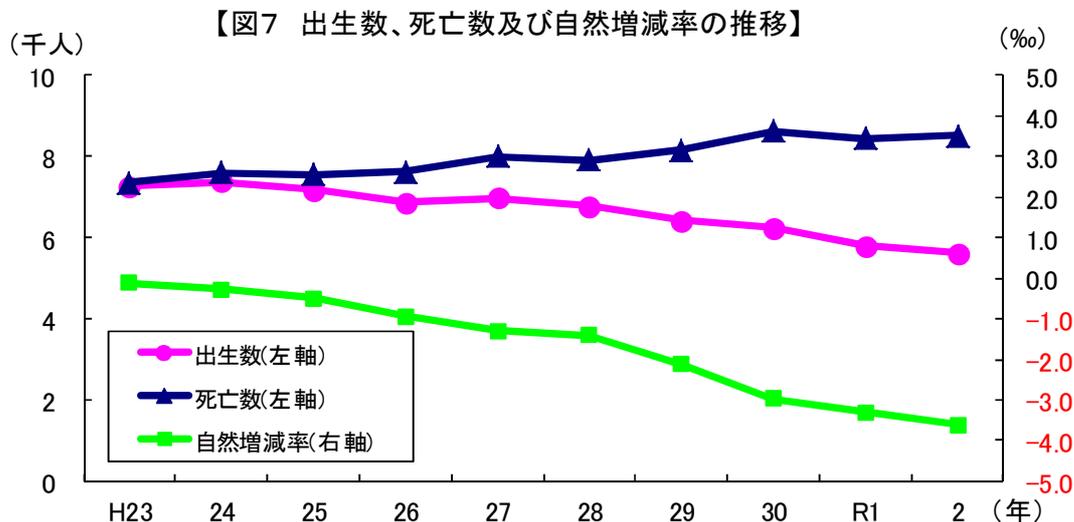


表7 自然動態

区 別	出 生			死 亡			自 然 増 減		
	総 数	出生率(‰)	前年比(%)	総 数	死亡率(‰)	前年比(%)	総 数	自然増減率(‰)	前年比(%)
<b>浜松市</b>	<b>5,628</b>	<b>7.03</b>	<b>△ 2.81</b>	<b>8,518</b>	<b>10.64</b>	<b>0.84</b>	<b>△ 2,890</b>	<b>△ 3.61</b>	<b>△ 8.81</b>
中 区	1,734	7.31	△ 2.25	2,472	10.42	△ 0.28	△ 738	△ 3.11	△ 4.68
東 区	1,101	8.44	2.04	1,251	9.59	6.74	△ 150	△ 1.15	△ 61.29
西 区	636	5.80	△ 10.17	1,136	10.36	△ 4.62	△ 500	△ 4.56	△ 3.52
南 区	767	7.48	△ 4.01	993	9.69	0.30	△ 226	△ 2.21	△ 18.32
北 区	541	5.80	△ 9.68	1,153	12.35	1.32	△ 612	△ 6.56	△ 13.54
浜北区	768	7.68	4.63	934	9.34	0.65	△ 166	△ 1.66	14.43
天竜区	81	2.94	△ 17.35	579	20.99	5.46	△ 498	△ 18.05	△ 10.42
令和元年	5,791	7.21	△ 7.25	8,447	10.52	△ 2.14	△ 2,656	△ 3.31	11.22

## (2) 社会動態

平成31年1月から令和元年12月までの社会動態をみると、転入者数は21,589人、転入率(人口1,000人当たりの転入者数)は26.96‰(パーミル)である。これに対し、転出者数は21,260人、転出率(人口1,000人当たりの転出者数)は26.55‰で、両者の差である社会増減数は329人増加となり、社会増減率(人口1,000人当たりの社会増減数)は0.41‰増である。

前年と比較すると、転入者数は2,051人、転出者数は1,977人とともに減少となった。社会増減数は74人減少となっている。

行政区別にみると、転入者数・転出者数ともに中区、東区の順に多い。社会増減数は中区、浜北区、南区の順に増加している。転入率・転出率ともに最も高いのは中区であり、社会増減率は中区、浜北区、南区の順に高い値となっている。

自然動態と社会動態を比較すると、本年は転入者数が多く、社会増減数は329人増加したが、自然増減数は2,890人減少となり、引き続き人口は減少している。

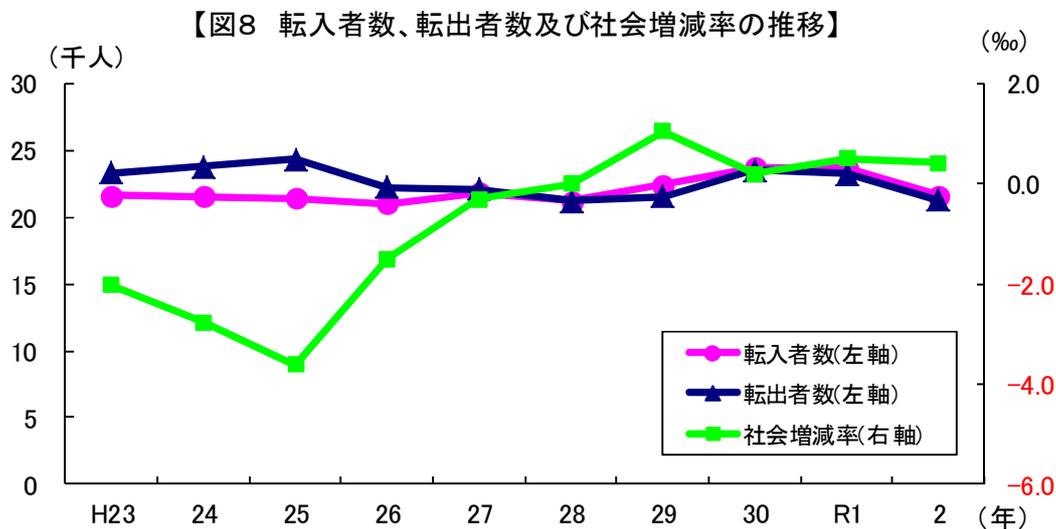


表8 社会動態(市外移動)

区 別	転 入			転 出			社 会 増 減		
	総 数	転入率(‰)	前年比(%)	総 数	転出率(‰)	前年比(%)	総 数	社会増減率(‰)	△は減少率 前年比(%)
<b>浜松市</b>	<b>21,589</b>	<b>26.96</b>	<b>△ 8.68</b>	<b>21,260</b>	<b>26.55</b>	<b>△ 8.51</b>	<b>329</b>	<b>0.41</b>	<b>△ 18.36</b>
中 区	8,630	36.38	△ 5.71	8,353	35.21	△ 5.83	277	1.17	△ 2.12
東 区	3,205	24.56	△ 9.59	3,181	24.38	△ 7.10	24	0.18	△ 80.17
西 区	2,778	25.34	△ 5.09	2,863	26.12	△ 9.74	△ 85	△ 0.78	65.31
南 区	2,831	27.62	△ 8.26	2,745	26.78	△ 9.64	86	0.84	79.17
北 区	1,923	20.60	△ 22.49	1,959	20.99	△ 15.08	△ 36	△ 0.39	△ 120.69
浜北区	1,839	18.39	△ 9.72	1,735	17.35	△ 11.88	104	1.04	52.94
天竜区	383	13.88	△ 6.81	424	15.37	△ 7.22	△ 41	△ 1.49	10.87
令和元年	23,640	29.44	△ 0.10	23,237	28.94	△ 1.15	403	0.50	160.00

## 6 人口移動状況(住民基本台帳・令和2年1月～令和2年12月)

令和2年1月から令和2年12月までの人口移動状況をみると、東海地方での出入りが最も多く、転入者は10,133人(構成比55.2%)、転出者は9,475人(同50.3%)である。以下、関東地方、近畿地方と続いている。

東海地方を県別にみると、転入者・転出者ともに最も多いのは静岡県で、東海地方における移動者の約6割を占めている。関東地方においては、転入者・転出者ともに東京都、神奈川県に多い。

大都市(東京都特別区部及び政令指定都市)別にみると、転入者、転出者ともに東京都特別区、名古屋市、静岡市の順に多い。

全国でみると466人の転出超過であるが、東北、北陸甲信越、東海、中国に対しては転入超過である。東海地方においては658人の転入超過であるが、愛知県に対しては107人の転出超過である。

表9 地方別転入・転出者数

地方	転入				転出				転入超過数 (△は転出超過数)		
	総数	構成比(%)	男	女	総数	構成比(%)	男	女	総数	男	女
<b>総数</b>	<b>18,361</b>	<b>100.0</b>	<b>10,642</b>	<b>7,719</b>	<b>18,827</b>	<b>100.0</b>	<b>10,825</b>	<b>8,002</b>	<b>△ 466</b>	<b>△ 183</b>	<b>△ 283</b>
北海道	228	1.2	130	98	273	1.5	175	98	△ 45	△ 45	0
東北	456	2.5	258	198	422	2.2	277	145	34	△ 19	53
関東	4,254	23.2	2,450	1,804	5,187	27.6	2,866	2,321	△ 933	△ 416	△ 517
北陸甲信越	691	3.8	395	296	646	3.4	388	258	45	7	38
東海	10,133	55.2	5,857	4,276	9,475	50.3	5,450	4,025	658	407	251
近畿	1,182	6.4	689	493	1,476	7.8	837	639	△ 294	△ 148	△ 146
中国	556	3.0	345	211	338	1.8	208	130	218	137	81
四国	143	0.8	89	54	155	0.8	96	59	△ 12	△ 7	△ 5
九州・沖縄	718	3.9	429	289	855	4.5	528	327	△ 137	△ 99	△ 38

注1) 住民基本台帳人口移動報告年報(基本集計)(総務省統計局)による。

注2) 東北地方: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県  
 関東地方: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県  
 北陸甲信越地方: 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県  
 近畿地方: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県  
 中国地方: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県  
 四国地方: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄地方: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

注3) 都道府県別・大都市別の転入・転出者数は、統計表6に掲載。

表10 東海地方県別転入・転出者数

県	転入				転出				転入超過数 (△は転出超過数)		
	総数	構成比(%)	男	女	総数	構成比(%)	男	女	総数	男	女
<b>総数</b>	<b>10,133</b>	<b>100.0</b>	<b>5,857</b>	<b>4,276</b>	<b>9,475</b>	<b>100.0</b>	<b>5,450</b>	<b>4,025</b>	<b>658</b>	<b>407</b>	<b>251</b>
静岡県	6,130	60.5	3,542	2,588	5,395	56.9	3,143	2,252	735	399	336
岐阜県	376	3.7	208	168	378	4.0	220	158	△ 2	△ 12	10
愛知県	3,258	32.2	1,871	1,387	3,365	35.5	1,871	1,494	△ 107	0	△ 107
三重県	369	3.6	236	133	337	3.6	216	121	32	20	12